

最新の改定 2013 年 11 月 24 日

2013 年 1 月 7 日

ISO メールマガジン(130107) ISO9001・ISO14001 の改正状況(1) 概要

ISO9001 と ISO14001 は共に現在改訂作業が開始されていますが、今後の予定は最速で次のようになっています。

規格	ISO9001	ISO14001
NWIP 発行(改正 PJ スタート)	2012 年 10 月	2012 年 4 月(WD1)
CD1 (委員会原案 1)	2013 年 6 月	2013 年 3 月
CD2 (委員会原案 2)	なし	2013 年 10 月
DIS (国際規格案)	2014 年 4 月	2014 年 7 月
FDIS (最終国際規格案)	2015 年 3 月	2015 年 3 月
IS (国際規格)	2015 年 9 月	2015 年 5 月～6 月

今回の改正では、ISO9001・ISO14001 以降に発行された各種マネジメントシステム規格(MSS)との共通化を図ることになりました。この共通要素を記述した文書の日本語訳は昨年 8 月に公開されています。

ISO/IEC 専門業務用指針 第 1 部 総合版 ISO 補足指針—ISO 専用手順(第 9 版 2013 年発行) の
付属書 SL(規定)マネジメントシステム規格の提案

SL8. MSS の開発プロセス及び構成に関する手引き

Appendix3(規定) 上位構造、共通の中核となる共通テキスト、共通用語及び中核となる定義

「http://www.jsa.or.jp/stdz/mngment/PDF/mns_5.pdf」

この文書では、各マネジメントシステム規格が採用すべき、規格の章立て、共通要求事項、共通用語・コア定義が記述されています。

この結果、ISO9001 と ISO14001 の両方の認証を取得している組織にとっては統合したマニュアルの作成が容易になる点や、他の規格の良い点を取り込むことができるという良い面があります、一方、ISO9001 や ISO14001 の要求事項にはなく、共通要求事項にある要求事項への対応が必要となる面もできます。

IS の発行までにはまだ時間はありますが、例えば「リスク及び機会」のような新たな概念の導入や、関連する規格(ISO31000、ISO26000)の理解等、ISO9001 と ISO14001 の改正に向けて時間をかけて臨むことが好ましいものもあり、今後次期改正に関連する内容は順次このメールマガジンで紹介していきますので、気になるものがあれば取り組んでいただければと思います。

これまで、既に ISO9001 又は ISO14001 の認証を取得している組織の方に、他の規格を導入する統合システム構築支援を実施してきましたが、今後の統合システム構築支援におきましては、今回の MSS 共通要求事項を踏まえたシステム構築の支援も実施していくことにしましたので、ご希望の方々のご連絡ください。

なお、この記事及び今後の記事は、昨年末、ISO9001 と ISO14001 の各国内対策委員会の責任者の講演を聴講して理解した範囲でまとめています。今後流動的な要素も多いとのことですので、異なった内容となった場合はご容赦ください。